

RI 第2820地区

水海道ロータリークラブ



春の坂野家

2007 2008年度 会長 大串 卓 幹事 田上 秀雄

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

THE WEEKLY REPORT

VOL. 45 No. 35 (通算No. 2157)

2008年5月7日(水)例会プログラム

点鐘

君が代・ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

地区協議会報告



ロータリーは分かちあいの心

2007 - 08 年度 国際ロータリー会長

ウィルフリッド J. ウィルキンソン

2007 2008 年度 会長テーマ

奉仕に熱意

思いやりの心で

例会報告 Vol.45 No.34(No.2156) 4月23日(水)晴れ (司会北村陽太郎委員長)

本例会での主な事項

会長挨拶 大串 卓会長

会員卓話 石塚利明会員

諸 報 告

ロータリー情報委員会 (中川莞爾委員長)

5月21日(水)第2回目のインフォーマルミーティングを開催致します。午後6時30分より糺屋さんです。参加者の皆様には本日案内文書をお出ししております。宜しくお願いします。

親睦活動委員会 (倉持功典副委員長)

5月15日(木)親睦ゴルフ大会を開催致します。ご参加宜しくお願いします。

委 嘱 状

米山奨学生カウンセラー 松村仁寿会員



幹事報告 (染谷正美副幹事)

週報受理クラブ なし

例会変更クラブ なし

皆さんのボックスの中に2007年手続要覧と水海道RCの定款・細則を入れさせて頂きました。



THE WEEKLY REPORT

会長挨拶 (大串 卓会長)



皆さん、こんにちは。

1916 - 17年度 クラブ数は230 会員数は27,000名。この年度の RI会長は、米国のアーチ・クランフ氏で彼は「ロータリー財団の父」と呼ばれました。アーチ・クランフ会長は、アトランタの国際大会で「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と、ロータリー財団の前身にあたる基金の設置を提唱しました。

アーチ・クランフは、貧しい少年時代を経て、オハイオ州クリーブランドで実業家として大をなした立志伝中の人物です。彼は、国際ロータリーの新定款を起草する委員会の委員長として、地区を設け、地区ガバナー職をつくり、年次地区大会を確立した書類の責任者で、ロータリークラブのために、標準ロータリー・クラブ定款と細則を書き上げ、1915年に採択されました。

アーチ・クランフは、1912 - 13年度のクリーブランドRC会長を務め、友人達には「寝てもさめてもロータリー」の人間であると評されていたそうです。クラブ会長の最後のスピーチで、クラブが多くのごができるように「非常時基金」を作ることを提案し、4年後のアトランタ大会で前述のように登場しました。

1928年 ミネソタ州ミネアポリス国際大会で、この基金は、ロータリー財団と改称され現在にいたっております。また、アーチ・クランフは、「ロータリー財団は、レンガや石の記念碑を建てるものではない。たとえ、大理石に碑銘をきざんだとしても、やがてはくずれてしまうだろう。真鍮を使ってとしても、いつかは汚れてしまうだろう。だが、心の中に碑銘をきざむなら、そして、ロータリー精神と、神をおそれ同胞を愛する気持ちを吹き込むならば、われわれがきざんだものは永遠に輝き続け、文明の続く限り、ロータリーを不滅のものとするだろう。」と述べています。そして、この目的の達成方法の見本例として：学生の交換、グループの交換、国際事業関係を通じての友好を挙げています。しかし、実際は成果も無く、年月が過ぎ、大恐慌に見舞われ、経済は沈滞し、多くのロータリアンが破産を免れようと必死のときでした。財団は国際社会に奉仕することを目指しましたが、ロータリアンの心に訴えることができませんでした。そして、1930年代、財団は、最初の補助金を授与しました。それは、ロータリーの創始者、ポール・ハリスを秘して米貨500ドルを身体障害児童保護国際協会に贈りました。最初の補助金は現在のポリオ・プラスの運動に続き、また、アーチ・クランフが思い描いたプログラムは、現在奨学金、研究グループ交換、マッチング・グラントなどの形で続いています。

1917 - 18年度 RI会長として、米国外から初めてカナダのレズリー・ビションが選出されました。米国のクラブでは本格的な戦争被害者救護募金などのキャンペーンが行われました。ロータリークラブは、カリブ海諸国に拡大されブルルコクのサンファンで結成され、英国のウェールズで初のクラブがカーティフで発足しました。クラブ数 321 会員数 32,600。

1914年に始まった第1次世界大戦は、1917年米国が連合国側について参戦し、1918年11月 ドイツ帝政が崩壊し、終結しました。ロシアでは、1917年3月 2月革命でニコライ2世が退位し、帝政が終わり、内戦がおこり1918年7月一家は処刑されました。

日本は、第1次世界大戦の直接の被害はほとんど無く、大戦景気で空前の好況期を迎え、特に、海運業と造船業が未曾有の活況を呈し、世界第3位の海運国になり、造船技術もトップクラスになり、1915 - 18年には輸出超過が続き、それまでの巨額の債務を抱える国から債権国に転換しました。また、民主主義を求める声が世界的に高まり、大正デモクラシーと呼ばれる時代でしたが、一方、大戦景気の恩恵は、都市部だけで、農村では、生産の伸び悩みや米価の高騰などで、全国各地で米騒動(1918)勃発しました。

THE WEEKLY REPORT

会員卓話 石塚利明会員



自社の評価方法

日本の企業の大部分は「取引相場のない株式」の発行会社です。その中には上場会社に近い大規模な会社もあれば、少人数の小規模な会社もあります。同じ評価方法をとると不公平が生じるので、会社の規模によって評価方法を変えています（財産評価基本通達による）。「取引相場のない株式」の評価方法は「原則的評価方式」と「特別的評価方式（配当還元方式）」を用います。原則として同族関係者を含めた株主が発行済株式数の30%以上を保有している場合を「同族株主」といい、「原則的評価方式」を用います。経営支配権のない同族株主以外の株主については「特別的評価方式」を用います。

●取引相場のない株式の評価方法

| 会社規模 | 評価方法 | 原則的評価方式 | 特別的評価方式 (配当を基に評価する方法) |
|-------|------------------------|----------------------------------------|--------------------------|
| 大 会 社 | | 類似業種比準価額か純資産価額のいずれか低い方 | |
| 中 会 社 | 大 | 類似業種比準価額×0.9+純資産価額×0.1 | 配当還元方式 |
| | 中 | 類似業種比準価額×0.75+純資産価額×0.25 | |
| 小 | 類似業種比準価額×0.6+純資産価額×0.4 | | |
| 小 会 社 | | (類似業種比準価額×0.5+純資産価額×0.5)か純資産価額のいずれか低い方 | |

●会社規模の判定

原則的評価方式を用いる場合には会社規模の判定が必要です。従業員が100人以上の会社はすべて「大会社」となりますが、100人未満の場合は下の表を使って判定します。「卸売業」「小売・サービス業」「それ以外の業種」によって区分基準が異なります。

判定の手順

- 従業員100人以上はすべて大会社
- 100人未満は総資産価額Aと従業員数Bのどちらが下位の区分
- 左記判定結果と年間の取引金額Cのいずれが上位の区分
- 判定
大会社
中会社
小会社

| 会社の規模 | A総資産価額(帳簿価額) | | | B従業員数 | C年間の取引金額 | | |
|-------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------|------------------|--------------------|--------------------|
| | 卸売業 | 小売・サービス業 | それ以外の業種 | | 卸売業 | 小売・サービス業 | それ以外の業種 |
| 大 会 社 | 20億円以上 | 10億円以上 | 10億円以上 | 50人以上 | 80億円以上 | 20億円以上 | 20億円以上 |
| 中 会 社 | 14億円以上 20億円未満 | 7億円以上 10億円未満 | 7億円以上 10億円未満 | 50人超 | 50億円以上 80億円未満 | 12億円以上 20億円未満 | 14億円以上 20億円未満 |
| | 7億円以上 14億円未満 | 4億円以上 7億円未満 | 4億円以上 7億円未満 | 30人超 50人以下 | 25億円以上 50億円未満 | 6億円以上 12億円未満 | 7億円以上 14億円未満 |
| 小 会 社 | 7,000万円以上 7億円未満 | 4,000万円以上 4億円未満 | 5,000万円以上 4億円未満 | 5人超 30人以下 | 2億円以上 25億円未満 | 6,000万円以上 8億円未満 | 8,000万円以上 7億円未満 |
| | 7,000万円未満 | 4,000万円未満 | 5,000万円未満 | 5人以下 | 2億円未満 | 6,000万円未満 | 8,000万円未満 |

●原則的評価方式とは

取引高、総資産、従業員数などにより会社規模を判定し、規模に応じた評価方法により評価する方法です。

原則的評価方式

- 類似業種比準方式
- 純資産価額方式
- 類似業種比準方式と純資産価額方式の併用方式

また例外として、総資産のうち株式または土地を一定割合以上保有している会社（「株式保有特定会社」「土地保有特定会社」）や閉業後3年未満の会社などは、「特定の評価会社」として分類され、これらの会社は現況に関係なく純資産価額方式で評価されます。

類似業種比準方式

主に大会社や中会社が対象で、会社の1株当たりの配当金額、年利益金額、純資産価額を基準に、事業内容が類似する上場会社の株価と比較して評価額を計算します。

$$1株当たりの類似業種比準価額 = \frac{\text{自社の配当金額} \times \text{類似業種の株価} + 3 \times \frac{\text{自社の利益金額}^{\ast 1}}{\text{類似業種の利益金額}} + \frac{\text{自社の純資産価額}}{\text{類似業種の純資産価額}}}{5} \times \text{割引率}^{\ast 2}$$

※1. 自社の利益金額…前年と前々年の平均のいずれか低い方
※2. 割引率…大会社=0.7 中会社=0.6 小会社=0.5

出席報告 (大塚令昌委員)

| 会員総数 | 出席者数 | 欠席者数 | 賜暇 | メーク | 出席率 |
|------|------|------|----|-----|--------|
| 49名 | 39名 | 10名 | 0名 | 8名 | 95.92% |

ニコニコボックス(海老原良夫SAA)

入金計 ¥20,000 累計 ¥1,807,000

石塚利明会員、卓話よろしくお願ひします。 大串会員

皆様にとって、今日も良い日でありますように。 青木(正)会員

原ジャイアンツの低迷同様体調も儘になりませんが、大串会長と早くビール勝負したいですネ！！

石塚(克)会員

5月15日、親睦ゴルフへの参加宜しくお願いします。 倉持・福谷 各会員

本日、お恐れながら卓話をさせていただきます。どうぞゆっくりお休み下さい。 石塚(利)会員

石塚君、卓話楽しみにしています。 武藤・斎藤 各会員

石塚会員、卓話ご苦労様です。 横山会員

石塚さんご苦労様です。楽しみにしています。 古矢会員

例会欠席しました。 松崎・山野井 各会員

会報委員会 委員長 松坂興一 副委員長 登坂 寛 委員 石塚利明